

令和6年9月発行

環境学習推進センター情報誌 第55号

Contents

eco サポート

発行元 公益財団法人山口県ひとづくり財団県民学習部

- P1 未来につなぐSDGs講座を開催しました
- P2 コラム 気候変動と適応
- P3 周防大島町地家室園地拠点施設等の紹介
山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会
- P4 今後の講座・イベント実施予定
啓発用パネル等の貸し出し

持続可能な社会の実現に向けて

未来につなぐSDGs講座を開催しました



令和6年6月1日(土)

防災はフェーズフリーの時代へ！ ～「いつも」のあなたが「もしも」のあなた～

一般社団法人レベルフリー代表、気象防災アドバイザーの坂本京子氏を講師に招き、いつもの暮らしの中に防災のアイデアを取り入れることで防災対策につなげる「フェーズフリー」を知り、実践につなげるための講座を開催しました。(受講者29人(うち小・中学生5名))

坂本先生は、防災とは「自分自身と大切な人の命を守ること。」「大切な人を悲しませないこと。」であり、頻発する災害に対する心構えとして「災害は“まさか”ではなく、“いつか”起きるものと認識し、自分は大丈夫だとは思わないこと。」を特に強調されました。

フェーズフリーの取組では、日常的に使う「撥水ふろしき」を非常時に「バケツ」として使用することや「小物入れは携帯トイレに使える」「カセットコンロは停電時に活用」「家庭菜園等は食料のストックになる」「レトルト食品はローリングしながら備蓄する(ローリングストック)」ことなど、様々な例を示されながら、「いつもの自分の行動(「もの」や「習慣」)が、もしもの時に自分を救う」ことについて丁寧に教えていただきました。

紙面では紹介しきれない盛りだくさんの内容で、受講者からは「フェーズフリーのイメージがつかめた。」「防災は日常的なもの意識を変え、習慣化したい。」などの感想が寄せられ、大変充実した講座でした。



令和6年7月27日(土)

脱炭素社会と暮らしの中のエネルギー

山口大学大学院技術経営研究科教授の福代和宏氏を講師に招き、積水ハウス株式会社の御協力をいただいて、同社、山口工場内の「Tomorrow's Life Museum山口」にて、「デコ活と暮らしの中のエネルギー」と題して、脱炭素につながるエネルギーと住宅の役割について考えていただく講座を実施しました。(受講者20人(うち中・高生3名))

福代教授から、「デコ活」とは、【デ：電気も省エネ断熱住宅】、【コ：こだわりの楽しさエコグッズ】、【カ：感謝の心食べ残しゼロ】、【ツ：つながるオフィステレワーク】をいい、それぞれが暮らしの中でのエネルギー削減につながる大事な取組であることや、住宅関連では、熱の出入りが最も多い窓やドアの断熱化が室内気温の変動を小さくし効果が高いことなど、様々な視点から解説していただきました。

午後からの見学では、積水ハウス株式会社担当者の方から、省エネ・創エネ設備や断熱材、複層ガラスの技術について詳しく説明していただきました。現在、同社が新築する住宅の9割以上がZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)であることや、複層ガラスも様々なグレードがあり、その断熱性能の比較体験では、受講者が効果を実際に体感でき、最新の技術に興味津々でした。

若い受講者の方からは、「今から生きる私にとって重要なことを知ることができた。」との感想が寄せられ、深刻化する地球温暖化対策として、益々重要となる脱炭素の取組について、多くの若者に知っていただくことの重要性を認識しました。



コラム 気候変動と適応

気候変動って何

気候変動とは、人類の活動による地球温暖化の進行（CO₂排出量の増加等）により、地表付近の平均気温が上昇するとともに、地球全体の気候が大きく変わることを行います。この地球温暖化によって、台風、豪雨、干ばつ、熱波の頻発などの様々な異常気象が起こります。

山口県でも、時間当たり50mm以上の短時間強雨の増加や夏期の気温上昇による熱中症搬送者数の増加など、気候変動の影響と考えられる現象が既に現れてきています。

気候変動の状況と将来予測

世界・日本

世界の平均気温は、過去100年で
0.99℃上昇し、海面は20cm上昇

今世紀末には…

世界の年平均気温は最大**5.7℃**上昇
海面は最大**63～101cm**上昇

日本の平均気温は、100年あたり
1.28℃上昇

今世紀末には…

日本の年平均気温は**4.5℃**上昇
猛暑日(日最高気温35℃以上)の年間日数は約**20日**増加

山口県

県の短期間強雨の年間発生回数は、
35年で**2.9倍**に増加

今世紀末には…

大雨(日降水量200mm以上)の日数や、短時間強雨
(1時間降水量50mm以上)の発生回数が増加

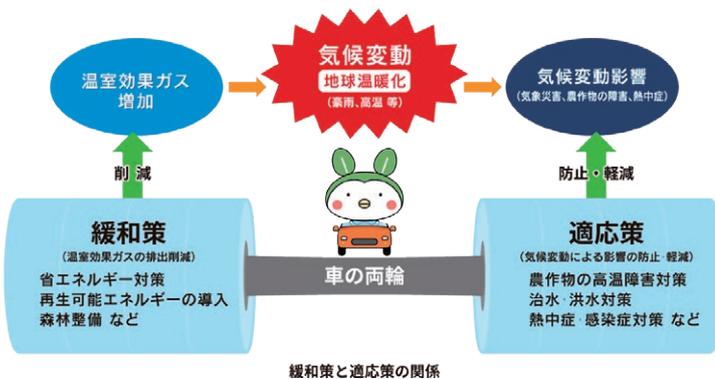
県の平均気温は、100年あたり
1.74℃上昇

今世紀末には…

年平均気温は**4.1℃**上昇
猛暑日の年間日数は約**26日**増加

気候変動の影響への対策

気候変動（地球温暖化）の影響への対策として、私たちは、省エネルギーや再生可能エネルギーなどの温室効果ガスの排出を削減する「緩和策」に加え、農作物の高温障害や熱中症・感染症など気候変動による影響を防止・軽減する「適応策」を両輪とする取組を推進していくことが増々重要となります。



緩和策と適応策の関係

食を守るための「適応例」

高温に強い品種開発
作付け時期の調整

作物の日焼け防止
日よけの設置

健康を守るための「適応例」

熱中症予防
・こまめな水分補給
・エアコンの適切な使用

蚊の育つ水たまり
などを作らない

虫よけ

気象災害から守るための「適応例」

地下鉄・地下街入り口に防水シャッター

天気予報・防災アプリ・ハザードマップ等の確認

雨水貯留等インフラ整備

気候変動の影響の気づきを投稿しよう！！

山口県気候変動適応センターでは、気候変動の影響かも？という自然の変化などの気づきや発見を投稿し、共有するWebアプリ「**これって気候変動？みんなで調査！**」を公開しています。昔より暑くなった？農作物に害虫が増えた？などの気づきや、ホタルが飛び始めた、大雨が降り始めたなど、山口の今の情報を投稿してください。

また、NPO法人山口県樹木医会と連携し、観察会を通じて身近な自然の変化に気づく、「**山口のぶちええ自然が変わる？おしえて、木のお医者さん！**」の講座を、**10月に周南市、12月に山陽小野田市で開催予定です**。このほかにも、2100年までのやまぐちの気候変動予測（気温、降水量）などの情報もYPLAT（やまぐち気候変動適応情報プラットフォーム）で公開しています。

【お問合せ先】山口県気候変動適応センター
☎083-924-3670（山口県環境保健センター内）

詳しくはこちら



これって気候変動？みんなで調査！

詳しくはこちら



山口市での講座の様子(R6.7開催)
温暖化が樹木にあたる影響～外来生物から考える～

周防大島町地家室園地拠点施設・環境省地家室園地休憩所を訪問しました



アワサングのアワちゃん

地家室園地

国内最大規模の「ニホンアワサング」の群生地と知られる周防大島町地家室（じかむろ）に、今年1月開所した「周防大島町地家室園地拠点施設」・「環境省地家室園地休憩所」を訪問しました。

施設は、瀬戸内海国立公園である屋代島の中央南部に位置し、南側に広がる海は、約3,000㎡、10万個以上といわれるニホンアワサング群落を中心とした「海域公園地区」に指定されるなど、豊かな自然と景観に恵まれた場所に立地しています。

ここは、ニホンアワサングの飼育・資料の展示を通じた瀬戸内海の自然環境の魅力を発信するとともに、エコツーリズムの活動拠点や農山漁村と都市との交流促進による地域活性化を図る拠点として活用するために、周防大島町と環境省により整備されました。

館内にはニホンアワサングを直接観察でき、加えて、動画でその生態や生育環境を紹介する水槽展示室があり、観察とあわせて瀬戸内海の豊かな自然を楽しく学ぶことができる魅力ある工夫がされています。

また、学習展示室には、周防大島町の自然や文化・歴史を紹介するパネルが展示されており、訪れた方に海域公園地区や周辺地域を含めた様々な情報を発信しています。

多目的室や屋外学習広場は、イベントや研修、地域活動に利用でき、開館時間内にはシャワー・トイレも利用できます。

訪問した、5月14日は天候もよく、四国佐多岬半島が眺望できました。ゆるやかに流れる時間の中で、目の前に広がる海を見ながら休憩される方やダイビングで周辺海域に広がるニホンアワサングの水中景観を楽しめる方などが施設を訪れ、利用されていました。

ぜひ、皆さんも、地家室園地で美しい周防大島町の自然を満喫してみてください。



園地入口



施設全景



学習展示室



水槽展示室のニホンアワサング

○施設概要

- ・所在地 周防大島町大字地家室709番地4
- ・電話 0820-80-4020
- ・開館時間 午前9時～午後5時
(水曜日・年末年始休館)
- ・入館料 無料
- ・駐車場 22台

○主な施設

- ・学習展示室 町内や周辺の自然・歴史・文化を紹介
- ・水槽展示室 ニホンアワサングの飼育、動画放映
- ・多目的室 研修会や地域活動等に利用可能
- ・屋外学習広場 休憩、学習の場にご利用可能
- ・トイレ・シャワー 開館時間内で利用可能

山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会の活動

地家室園地周辺では「山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会」（会長：藤本正明氏（自然公園指導員））が、地域の自然や文化・歴史などを生かした様々なプログラムからなる環境活動を行っています。

ニホンアワサングの群生は、背後にあるアベマキの大群落の腐葉土層に浸透した雨水が海底から湧き出し、栄養を供給するためと推測されています。

会では、「豊かな海を守るためには森林や耕地の多面的機能をよみがえらせることが大切」とし、「アベマキの森づくり」（アベマキの植樹、竹の伐採や炭づくり）や「水仙の里づくり」（園地周辺の耕作放棄地の整備）など、陸域の保全活動を精力的に行っています。

また、会では、クリアカヤックなどでニホンアワサングを観察するエコツアーを主催しています。地家室の山や海の話を変えたプログラムで構成され、参加者は、山を守ることの大切さが、この海域に生息するニホンアワサングや海域の保全につながっていることを学ぶことができます。

会では、こうした取組を、ホームページや動画サイトで積極的に情報発信しながら、人々の交流による地域活性化と魅力あふれる元気いっぱい地域づくりに向けた活動を推進されています。



アベマキの森のシンボルツリー



水仙の里

○山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会

会長 藤本 正明 E-mail mffffmfrf@poppy.ocn.ne.jp

今後の講座・イベント実施予定

ワークショップコレクション in やまぐち2024 こどものためのワークショップ博覧会

日時 11月9日(土)・10日(日) 10:00~15:00
場所 山口県セミナーパーク

☆つくる、体験する、2日間で約50コンテンツが出典！
☆クラフト工作や実験、プログラミング体験などが大集合！
☆みんなの「わくわく!」「どきどき!」「おもしろい!」
という気持ちを応援します!

主催：ワークショップコレクションinやまぐち実行委員会
(山口県新たな時代の人づくり推進ネットワーク)



希少野生動植物種保護支援員研修会

里山ビオトープ二俣瀬における生態系の保全活動

開催日 10月26日(土) 13:00~15:30
場所 里山ビオトープ二俣瀬 (宇部市大字車地)



支援員に登録されていない方は
こちらへ。
登録のご案内を
掲載しています



第19回 ひとつづくり・地域づくりフォーラムin山口

「出会い・交流・学びから広がるひとつづくり・地域づくり」をテーマに、地域課題の解決を担う人材の育成と地域での実践活動につながるフォーラムを開催します。
開催日 2月15日(土) 場所 山口県セミナーパーク



啓発用パネル等の貸し出し

地域や学校での環境学習やイベント等での啓発に活用できる、環境に関する啓発パネルを貸し出しています。

ホームページには、現在、啓発パネルの貸出情報のみですが、環境に関する図書や双眼鏡なども無料で貸し出しています。
詳細は環境学習推進センターまでお問い合わせください。



詳細はこちら



NO.4 地球温暖化防止対策



NO.7 こども向け環境学習



NO.12 食品ロスってなに？

NO	啓発用パネルの内容	
1	循環型社会の形成	(6枚組)
2	大気環境	(5枚組)
3	水環境	(5枚組)
4	地球温暖化防止対策	(7枚組)
5	自然保護関係	(8枚組)
6	新環境	(9枚組)
7	こども向け環境学習	
	地球温暖化ってなに	(3枚組)
	みんなで取り組もう!! 3R	(2枚組)
	自然のしくみって?	(3枚組)
8	つくってみよう!! 緑のカーテン	(3枚組)
9	水辺の教室	(5枚組)
10	家庭から始める 3R	(5枚組)
11	新エネルギー	(10枚組)
12	食品ロスってなに?	(8枚組)
13	こども向け地球温暖化	(8枚組)
14	海洋プラスチックごみ	(6枚組)
15	再生可能エネルギー	(7枚組)

公益財団法人山口県ひとつづくり財団
県民学習部
環境学習推進センター



地域ESD活動推進拠点

〒754-0893

山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)

TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720

E-Mail kangaku@hito21.jp

https://yamaguchi-learning.com/

環境学習のひろば

検索